

令和4年度「県立学校による地域との協働推進事業」実施報告書

番号	⑩	学校名	大淀養護学校
----	---	-----	--------

1. 事業内容について

取組・活動・事業名等	交通安全運動への参画
教育課程上の位置付け・目標又は活動のねらい	特別活動として実施。ふれあいを大切にし、人を思いやる心や自分たちの学校だという気持ちを育むこと。意思表示できる力、自己決定できる力を養うこと。集団の中でみんなといるという楽しさや自分の役割・ルールなどを知り、社会性を育てること。
連携・協働相手	吉野警察署
地域と共有している目標・課題等	障害のある子どもの自立と社会参加を促進するとともに、社会を構成する様々な人々と共に助け合い支え合って学ぶ場とする。
取組・活動の内容（生徒の主体性、具体的活動、連携・協働内容など）	
秋の交通安全運動に関連して、児童生徒が台紙にイラストを描いたり、シールを貼ったりした。ラミネートしてパンチで穴を開け、ストラップ金具を付け、「交通安全ストラップ」を手作りした。吉野警察署員に来校していただき、配布依頼式を実施、生徒会役員が代表としてストラップを手渡した。	

2. 事業の成果と課題

<p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ストラップづくりの活動が地域との触れあいに繋がることを知り、児童生徒が主体的に取り組むことができた。 ・配布依頼式では、警察官と対面にてストラップを渡すことで、生徒の交通安全運動への意識を高めることができた。 ・生徒会役員は、地域との交流を通して、人の役に立つ喜びを体験することができた。 <p>○課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、生徒が直接ドライバーに手渡すことができなかった。 ・ストラップづくりの活動に参加していない児童生徒は、「交通安全運動への参画」を意識することが難しかった。参加していない児童生徒への働きかけが今後の課題として残った。

